

番 号 1

平成21年12月4日

仙北市議会議員 佐藤 峯 夫 様

仙北市議会議員 2番 佐藤 直 樹

		平成21年12月4日 午前10時05分受領	
発 言 通 告 書	発言の種別	一 般 質 問	
発 言 の 要 旨			備 考
◎門脇市長の所信表明と「明日を創る8つの約束」について ・4年間で所得10%以上増やす、について ・市民分権について ・行財政改革について			
上記のとおり通告します。			

平成 2 1 年 1 2 月 4 日

仙北市議会議長 佐 藤 峯 夫 様

仙北市議会議員 9 番 小 林 幸 悦

		平成 2 1 年 1 2 月 4 日 午前 9 時 4 5 分 受領
発 言 通 告 書	発言の種別	一 般 質 問
発 言 の 要 旨		備 考
<p>1. 県立高校2校の存続の見通しと今後の取り組みについて 県の高校整備計画は基本が財政抑制であり、新しい教育再編の期待感を感じられない。生徒が減少している、お金がない、この2本立てと、校舎の老朽化による改築促進を大命題にして、ことを進めようとしているように思える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 県議会議員としてこれらに関わってきた門脇市長の目から見た県の姿勢に対する見解と地域の首長となった今、この問題にどんなスタンスで臨む覚悟なのか聞かせていただきたい。 <p>2. 岩瀬・北野線の未開通部分（横町～小館）について ・ この区間の基礎調査は終わっていると思うが、事業着手の見通しは。</p> <p>3. 雇用の創出と拡大について 雇用の悪化は全国的なものであるが、なかでも仙北市は低いところにあるようだ。特に若い人たちが苦勞している姿を見るのは辛い。 雇用拡大の補正予算や地域雇用創造推進事業に期待はするが、年明けの仕事がまったく見えないとの声が建設業関係から主に聞こえてくる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 市が発注する工事で一度に同じような物件が複数出た場合、工種によっては市内の業者だけで対応できず、やむなく他の業者が施工する場合がある。 発注時期や工事期間の調整が出来れば、地元の業者がもっと仕事出来るようになると思う。 ・ 国道 46 号線のバイパス工事や 105 号線の道路改良工事で地元業者がもっと仕事ができるような方法はないか。 		
上記のとおり通告します。		

番 号 3

平成21年12月4日

仙北市議会議長 佐藤 峯 夫 様

仙北市議会議員 7番 門 脇 健 郎

		平成21年12月4日 午前11時59分 受領	
発 言 通 告 書	発言の種別	一 般 質 問	
発 言 の 要 旨			備 考
1. 陳情、要望活動の考え方について 行政を効率的にしかも早期計画達成のためにも重要と考えるが、 首長としてのこれに対する姿勢を問う。			
2. 病院問題について 本市の緊急課題であるが、この解決をどう進めるか。			
3. 木質バイオマスの運営について			
4. 内陸線の存続をどう進めるのか。			
5. 農林業と観光とは連携し推進すべきものであるが、どう進めるの か。			
6. 市民の雇用を創出するため、ハード事業を進めるべきであるが、 どう対処するのか。			
7. 西明寺中学校野球場の計画内容について			
上記のとおり通告します。			

平成21年12月2日

仙北市議会議長 佐藤 峯 夫 様

仙北市議会議員 20番 田 口 勝 次

		平成21年12月2日 午前11時10分受領
発 言 通 告 書	発言の種別	一 般 質 問
発 言 の 要 旨		備 考
<p>■門脇市政の基本的考え方を伺う。</p> <p>マニフェストに、「ふるさと仙北市は漂流しています」と記されていた。これは仙北市の現状を憂う表現と思うが、指摘のとおり仙北市は今、まちづくりをはじめ産業・経済の課題が山積している。</p> <p>議会もこの4年間初代石黒市長と議論を重ねてきたが、基本的な部分で議論がかみ合わないことも多々あった。門脇市長の市長選出馬は仙北市の動向に不安を感じてのこととすれば、その責任の一端は議会にある。そのような立場に立って一般質問を行なう。</p> <p>①今後市民は石黒市政と門脇市政の違いについて、比較検討することになるが、門脇市長のめざす市政の基本部分は何か。 また石黒市政との違いを明らかにしていただきたい。</p> <p>②前市長と議会の議論等、あり方についてどのように認識しているか。 またこのことに関して職員から意見や要望がなかったかを伺いたい。</p> <p>③仙北市の現状における課題についてどの程度掌握しているか。市長が最も優先して取り組む課題は何か。その具現化について考えられる手法等について伺う。</p> <p>④仙北市総合計画に対する市長の考えと今後の取り扱い方について伺いたい。特に計画の見直しは考えないか。</p> <p>■市長の市政公約について</p> <p>「明日を創る8つの約束」を市政公約として掲げて、圧倒的な市民の支持を得て市長に就任したが、マニフェストで訴えた中から3項目の具現化について伺いたい。</p>		

① 市民所得10%アップ

県内13市中最下位の市民所得を10%アップすると訴えたが、私も4年前同じことを訴えて議会で何度もこの議論を重ねてきた。仙北市が元気を取り戻すには、「所得向上」は欠かせない課題である。アクションプランや達成目標について具体的な議論をしたい。この項目で、特に行政が果たすべき役割と民間事業者のかかわりについてどのように考えているか市長の所見を伺いたい。

② 医療再生と福祉充実

大仙・仙北医療圏における機能分担と医療体制について、市立角館病院、田沢湖病院それぞれの基本とする考えについて伺いたい。また福祉については、施設サービスについてはすでに「官から民へ方向付け」されているが、門脇市長の考えについて伺いたい。

③ 行財政改革

徹底的な行財政改革の断行を公約しているが、ネライの基本は「政策財源の捻出」にあると思う。

仙北市の現在の財政事情をどのように判断し、どのように今後財政運営しようとしているか。市長の財政運営に関する所見を伺いたい。次に行財政改の断行には、職員の意識改革が必要であるが、それに関する市長の取り組み方針を示していただきたい。

市民サービスの充実策として、地域運営体構想を手法としているが、その必要性について伺いたい。

最後にこれまでの議会における論議は「分庁舎方式は非効率的」と判断し、新庁舎建設を今後の方向付けとしてきたが、このことに関してはマニフェストでは「凍結」となっているが市長の基本姿勢を伺いたい。

上記のとおり通告します。

番 号 5

平成21年12月1日

仙北市議会議長 佐藤 峯 夫 様

仙北市議会議員 22番 平岡 均

		平成21年12月2日 午前11時00分受領
発 言 通 告 書	発言の種別	一 般 質 問
発 言 の 要 旨		備 考
1. 農林業について FTAを当市は受け入れるか。		
1. 農業と教育との相対関係について		
1. 新型インフルエンザについての最新の情報と対策		
上記のとおり通告します。		

番 号 6

平成21年12月4日

仙北市議会議員 佐藤 峯 夫 様

仙北市議会議員 19番 藤 原 万 正

		平成21年12月4日 午前10時38分受領
発 言 通 告 書	発言の種別	一 般 質 問
発 言 の 要 旨		備 考
<p>1. 環境問題について</p> <p>①環境改善、環境浄化の取り組みについて (EM菌等をつかった取り組み)</p> <p>②環境に対する意識の高揚を図る施策は？</p> <p>③環境リーダーの育成について</p> <p>2. 農業問題について</p> <p>①農業所得の向上、その具体的な考え方は？</p> <p>②有機農業に対する考え方は？</p> <p>③耕作放棄地解消への考え方は？</p> <p>④過疎集落対策は？</p> <p>⑤バイオマス事業の今後について</p> <p>3. 政府は今年1日「観光立国推進本部」を設置、秋田県は県と市町村が観光分野の機能合体に向けた取り組みを進めている。地区ごとに協議会を組織して、来年度から事業をスタートさせる方針であるが、当市の対応について伺いたい。</p> <p>4. 私はかつて角館町議会議員時代に、「横手市民地域会議」の例を挙げて、市民と行政の新しい関係をつくりあげていくべきだと提案した経緯がある。また、大仙市では合併後、住民で組織する「地域協議会」がある。市長の言われる「行政と市民活動を支援する機構改革」とは同じ考えなのか、否か。</p>		
上記のとおり通告します。		

平成21年12月4日

仙北市議会議長 佐藤 峯 夫 様

仙北市議会議員 6番 安藤 武

		平成21年12月4日 午前10時50分受領
発 言 通 告 書	発言の種別	一 般 質 問
発 言 の 要 旨		備 考
<p>まちづくりの推進体制について</p> <p>1) 地域づくりと人づくり 急激な社会変動の時代に生きる市民は、生涯にわたって学習活動する必要に迫られており、行政は的確にそれに対応して行かなければならないと思う。 生涯学習の視点に立って多様な学習機会の提供を展開する必要があると思うし、市長の言う協働のまちづくりの原点だと思うがどうか。</p> <p>2) 地域の経済基盤づくり 農業が安定してはじめてこの地域が活性化するのは言うまでもないが、農業の振興は今後担い手の弱体化をいかに防止していくかが大きな課題である。魅力ある農業にすれば解決できる問題ではあるが、最初は意識の向上に取り組む事だと思う。行政が動いた例はたくさんある。職員が先頭に立って販売経路の確保と今まで以上にJAと親密な関係を作る必要があると考えるが、どうか。</p> <p>3) 福祉と生きがいづくり 核家族化、扶養意識の変化、高齢者の生活を支える年代の流出などによって家庭における扶養や介護の機能は著しく低下している。高齢者のニーズも多様化しており、それへの対応が次第に難しくなっているため福祉の在り方や質が問われてきた。現在、都市に転出している若者が、老後は故郷に帰って生活したくなるような「高齢者に優しいまち」にしてほしい。 そのためにまず、社会参加や奉仕活動がもっとも重要な課題と考えるが、どうか。</p>		
上記のとおり通告します。		

番 号 8

平成21年12月4日

仙北市議会議長 佐藤 峯 夫 様

仙北市議会議員 5番 大石 温 基

		平成21年12月4日 午前11時15分受領
発 言 通 告 書	発言の種別	一 般 質 問
発 言 の 要 旨		備 考
<p>○ゴミの収集について</p> <ul style="list-style-type: none">・市で収集していないゴミを、農業用ビニールのように、市が中に入って収集を・ペットボトル等について <p>○仙北市が目指す農業は</p> <ul style="list-style-type: none">・市が農家を引っ張って行くくらいの農政を・技術指導、販売先の確保 <p>○観光と農業の結び付け</p> <ul style="list-style-type: none">・ホテルや食堂の食材は地元の生産物を		
上記のとおり通告します。		

番 号 9

平成21年12月4日

仙北市議会議員 佐藤 峯 夫 様

仙北市議会議員 21番 佐々木 章

		平成21年12月4日 午前10時37分受領
発 言 通 告 書	発言の種別	一 般 質 問
発 言 の 要 旨		備 考
1. 最優先課題と位置づけた仙北市の医療再生への道筋は （イ）医師確保の具体策について （ロ）田沢湖病院の救急再開について （ハ）角館総合病院の改築の方向性について （ニ）病院事業管理者の設置について 2. 観光の振興策について （イ）観光客落込み復活への具体的施策は何か （ロ）「観光産業拠点特別区」への予算投下具体的内容は （ハ）三観光協会や地域団体との相互連携の方向性の主体はどこか （ニ）仙北市を含めた市町村連携の観光圏への対応はいかがか		
上記のとおり通告します。		